

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成27年												平成28年										
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月 ~1日	5月 ~8日	5月 ~15日	5月 ~22日	5月 ~29日	6月 ~5日	6月 ~12日
カンピロバクター	117	100	86	166	99	138	164	131	131	116	64	68	72	56	111	153	11	15	37	33	20	56	45
病原性大腸菌	227	185	210	229	130	190	195	127	95	134	147	174	140	146	163	167	14	25	37	32	42	44 (45)	34
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	9	2	5	3	7	9	20	37	14	36	19	11	12	4	2	8	3	1	4	2	2	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	44	32	29	27	19	31	37	26	18	26	15	25	23	20	25	14	4	2	2	6	5	10	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	20	18	12	15	15	21	15	19	14	17	22	21	11	11	16	21	3	5	3	5	4	6 (7)	4
腸炎ピリオ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	1	1	0	0	2	7	8	2	1	1	0	0	1	0	3	1	0	0	2	0	0	1
ロタウイルス	2	0	5	15	3	2	0	0	0	0	1	2	4	19	29	24	3	2	2	11	11	1	0
アデノウイルス	1	0	1	4	0	3	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ノロウイルス	38	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	20	20	5	9	0	1	0	1	0	0	2

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
*その他はアエロモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

平成28年第23週(6月6日~6月12日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10	1	1	1		3	4	
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1			1				
四類	1	日本紅斑熱	1							1
五類全数	4	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1			1				
		後天性免疫不全症候群	1							1
		梅毒	1					1		
		水痘(入院例)	1				1			

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第23週 6/6～6/12)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 咽頭結膜熱

定点当たり0.96人と、前週と比べてやや増加しており注意が必要です。

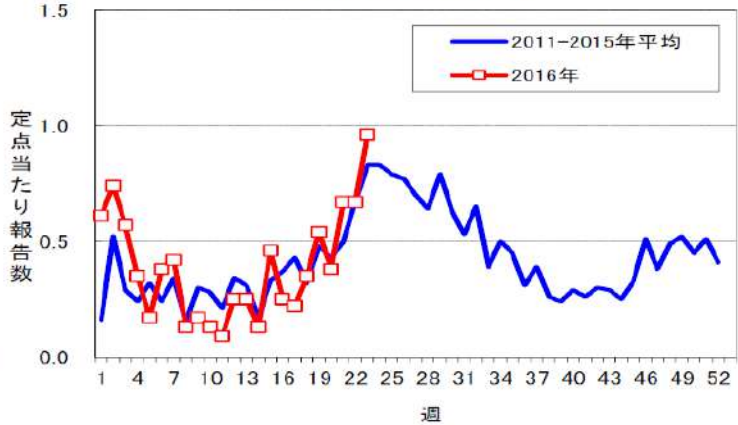
咽頭結膜熱は、発熱・咽頭炎(のどの痛み)・結膜炎を主な症状とするウイルス性の疾患で、通常6～8月の夏季に流行します。予防には、感染者との密接な接触を避け、手洗い・うがいを励行することが大切です。

2. 伝染性紅斑

定点当たり1.21人と、例年同時期と比較して多い状況が続いています。

10～20日の潜伏期間の後、頬に紅い発しんが現れ、続いて手足に発しんが出現します。両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」とも呼ばれます。手洗い・うがいの励行など感染予防に努めましょう。

咽頭結膜熱の流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
フィルン	インフルエンザ	-	-	0.05	
小児科	咽頭結膜熱	23	0.96	0.83	↗
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	66	2.75	2.33	↗
	感染性胃腸炎	153	6.38	6.61	↗
	水痘	22	0.92	1.18	↑
	手足口病	4	0.17	1.44	
	伝染性紅斑	29	1.21	0.32	↗
	突発性発しん	8	0.33	0.48	
	百日咳	2	0.08	0.11	
	ヘルパンギーナ	26	1.08	0.62	↘
	小児科	流行性耳下腺炎	16	0.67	0.66
眼科	RSウイルス感染症	3	0.13	0.10	
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
眼科	流行性角結膜炎	9	1.29	1.05	
基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	0.08	
	マイコプラズマ肺炎	9	1.29	0.06	
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	0.14	-	
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	7
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	67	女性(70歳代)・1人、男性(90歳代)・1人、女性(90歳代)・1人
5	梅毒	1	9	男性(20歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の神経系疾患	発熱(40.0) 脳症 意識障害	9	男	2016/04/30	咽頭拭い液	ヒヘルペスウイルス6型 ヒヘルペスウイルス7型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載